

東日本大震災の**教訓**を生かすために

～宮城県南三陸町と鳥羽市の『きずな』～

南三陸町の被害を忘れないために、そして今 鳥羽市にできること

総務課防災危機管理室 ☎ 1118

昨年3月11日に発生した東日本大震災では強い揺れや大きな津波により、多くの尊い命が奪われ、未曾有の被害をもたらされました。そして、宮城県南三陸町では15mを越える津波が襲来し、住宅の7割近くが被災する壊滅的状态となりました。南三陸町防災対策庁舎（下記左の写真）は、今回の甚大な津波被害の大きさを物語っています。



南三陸町防災対策庁舎



被災前の南三陸町



被災後の南三陸町

東北の三陸地方にある小さなまち南三陸町と東海の伊勢志摩地方にある小さな鳥羽市との『きずな』は、3月11日に起こった東日本大震災から始まります。

南三陸町と鳥羽市が共通するところ

東日本大震災が発生するまで、宮城県南三陸町をご存知のかたは少なかったのではないのでしょうか。両まちは約1,000km離れたところにありますが、共に沿岸部はリアス式海岸特有の豊かな景観を有した自然環境を持ち、海の幸に恵まれ、観光業が共に盛んであるところなど多くの共通点があります。



宮城県南三陸町データ

人 口：17,815人
 世 帯 数：5,365世帯
 高齢化率：29.3%
 特 色：漁業と観光のまち
 特 産 品：タコ、カキ、ワカメ
 サンマ、ホタテ、ウニ



南三陸町の地震と津波の被害

◆人的被害

死者：564人
行方不明者：247人

計 811人

●平成 24 年 5 月 30 日現在

◆物的被害

住宅被害：3,301 世帯
●半壊以上 ●うち「津波被害世帯」3,263 世帯
農地被害：約 452ha
森林被害：約 12ha
漁船被害：2,022 隻（被災率 94%）
●被災前の登録漁船隻数 2,152 隻



東日本大震災での南三陸町の被害の状況

鳥羽市長が南三陸町を訪問

震災直後の昨年 4 月 3 日、4 日の両日、鳥羽市では被災者支援としてホームステイの受入れを行っていることを伝えるため、市長と防災対策室長が南三陸町を訪問しました。両まちが遠く離れていることや被災されたみなさんの地元への強い想いもあり、ホームステイは実現しませんでした。この日から、南三陸町と鳥羽市の交流が始まりました。



南三陸町の佐藤仁町長

市から南三陸町へ職員派遣

市長が被災直後に南三陸町を訪問したことをきっかけに、昨年の 6 月から半年間で、延べ 6 人の市職員を南三陸町の佐藤仁町長の秘書として派遣しています。

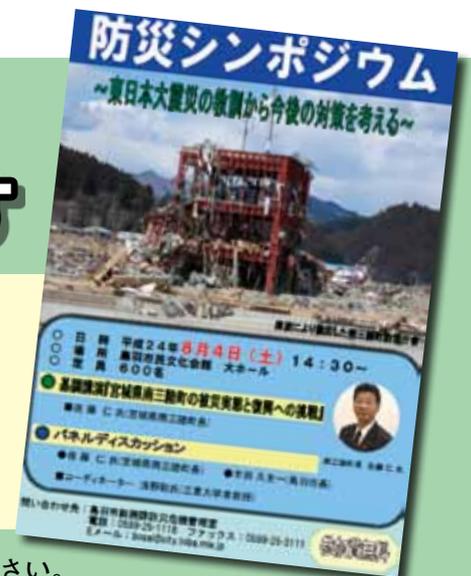
南三陸町長をお招きし 防災シンポジウムを開催します

日 時：平成 24 年 8 月 4 日(土) 14 時 30 分～

場 所：市民文化会館・大ホール

講 師：南三陸町長 佐藤 仁 氏

基調講演『宮城県南三陸町の被災実態と復興への挑戦』



※広報とば 7 月 16 日号にチラシが折り込みされています。ぜひ、参加してください。